

全校朝会 校長講話【12月25日】

「長い2学期を振り返って！！2学期—終業式—」

今日で2学期が終わります。9月3日（月）にスタートし、77日間のみんなで生活してきました。校長は、9月3日の始業式のときに、こんなお話をしました。

「2学期は、一年で一番長く77日間あります。そして、大きな学校行事もたくさんあります。長い2学期、自分なりの目標をもって、その目標に向かって挑戦してほしい。」

さて、ここにいる関台小のみなさん、一人一人どのようなことを目標にして頑張ったでしょうか。校長先生からみて、「みんな、頑張ったな」ということを三つお話します。

第一に、11月の学習発表会です。「一致団結」「心をつなげて」「みんな協力して」、このような合言葉のもとに、どの学年も日頃の学びの成果を十分に発揮した発表を行うことができました。

1年生の創作物語「朝顔が 教えてくれたこと」。歌と詩の暗唱を明るく元気よくできました。そして、朝顔の命がなくなっていくことを分かりやすくみんなに伝えてくれました。2年生の音楽物語「スイミー」。歌と鍵盤ハーモニカの演奏はとても一体感があって、「スイミー」の物語の世界をとてもし生き生きと伝えてくれました。3年生の創作劇「71匹の子ぶた」。レンガぶた、星座ぶた、何にもないぶたなど、たくさんのぶたを演じてくれましたが、一人一人に「個性がある」「よさ」があるというメッセージを伝えてくれました。是非、金井先生が作ってくれた歌は、いい歌なので、ずっと歌い続けてほしいと思います。4年生のプレゼン「パリンピック・プロジェクト」。本当のニュース番組を見ているように、自分たちで調べたパリンピックの競技を分かりやすく伝えてくれました。2020年のオリンピック・パリンピックが楽しみになりました。5年生の合唱と合奏。合唱は、さすが高学年らしく、すみきった歌声を披露してくれました。合奏の「スターウォーズ」の迫力ある演奏は、今も校長先生の心の中で響いています。きっと、ここにいるみんなもそう思っていることでしょう。6年生の劇「ユタと不思議な仲間たち」。小学校生活最後の演技。とても感情がこもった演技は、鑑賞している人に感動を与えてくれました。低学年の子や保護者の人たちの中には、涙を浮かべながら鑑賞している人がいました。さすが、6年生の見事な演技でした。

第二は、元気に過ごすみんなの姿があったことです。当たり前のことのようにですが、9月から12月へと季節が夏から秋へ、そして冬に変わり、だんだん寒くなる中で、元気さを証明することはなかなか難しいことでもあります。

でも、みなさんは、校庭や体育館での体育の授業で、低学年・中学年を中心に、大きな声を出して準備体操して、元気さを証明してくれました。

関台っ子は元気が一番。みんなの大きな、元気な声が、学校中に響いてきて、とても気持ちよかったです。これからも、いつでも元気で、大きな声が出せる関台っ子でいてください。

そして、第三は、人が前に立ったら、黙って話を聞く。つまり、「黙然静聴」に取り組んできました。だいぶ、みんな頑張って切り替えが早くなって、黙って話を聞く姿勢になるまでの時間が短くなってきました。

点数をつけると70点。みんななら、もっとできると信じているので、3学期は、100点満点になるように頑張っていきましょう。

以上、みんながこの2学期に頑張ったなと、思うことを話しました。このあとクラスに戻って、担任の先生が渡してくれる通知表にも、みんなが頑張ったこと、できるようになったことなどが書かれているので、楽しみにしていってください。

さあ明日から、冬休みです。新しい年も迎えます。ぜひ、みんなには家族や親せきの人たちと、ゆったりと過ごして、3学期に向けて力を蓄えてほしいと思っています。

来年の1月8日（火）に、みんなの元気な笑顔に会えるのを、先生たちみんなでも楽しみにしています。

